

2019年 公益社団法人 日本電気技術者協会 北陸支部 主催

通電状況における漏洩電流の測定・診断技術

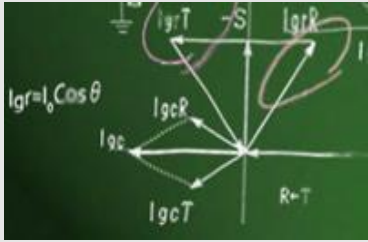
True R(ベクトル理論Igr)方式による

対地絶縁抵抗電流検出

事前情報



電気設備の適切な保全・管理運営をめざして、漏電事故究明を迅速かつ効率よく行う為の技術・技能を座学および実験にて紹介。

日時	① 2019年12月12日(木) 時間 14:00~16:00 (富山会場) ② 2019年12月13日(金) 時間 14:00~16:00 (福井会場)
場所	①北陸電力(株)本店大ホール 200名 ②北陸電力(株)福井支店 100名
受講対象	電気主任技術者又は電気設備保全業務従事者 (聴講費無料 事前参加申し込みをお願いします)
講師	株式会社So Brain 代表取締役 頭本頼数 True R(ベクトル理論Igr)方式発案者 【経歴】 2001年(株)NTTデータ3C入社、戦略企画部所属し次世代ビジネスを構築に従事。 2005年(株)SoBrain設立。電気保安課題に対し経済産業省、日本電気協会とのディスカッションを交え様々な局面の漏洩電流検出の可能性を考察、2009年Δ回路に於ける漏洩電流検出方法発案にて特許取得。その後、単相、Y回路に於いても特許取得。 現在、電気設備学会論文執筆や日本電気協会、産業保安監督部等依頼されたセミナー講師、保守コンサル業務、産業界では漏電検出機器開発コンサル等にて活動。
講義内容	<p>漏洩電流の測定・管理方法としてIo方式機器が多く普及しております。近代は電気機器の省エネ、省力、高効率に伴い高調波やノイズの影響を受け精度良い測定が困難となり電気保守業務に様々な課題を抱える時代となっております。Ior方式に分類された、特許技術で高調波やノイズの影響を受けず正確に“危険”な漏洩電流のみを検出する方式について紹介し、様々な電気保安として採用されている方式を理解し、更に範囲を広げる絶縁劣化の管理を必要とする現状を説明し、実験による動作確認をご紹介します。</p>  <ol style="list-style-type: none">電気安全 (1)漏電火災のメカニズム絶縁抵抗 (1)絶縁抵抗試験の範囲認識 (2)絶縁抵抗試験では、検出できない漏電について活線状態における漏電診断 (1)Io方式とその問題点 (2)Io方式の漏電ブレーカーの問題点と分析方法対地絶縁抵抗分電流 (1)対地絶縁抵抗成分電流とは (2)True R(ベクトル理論Igr)方式について (3)いろいろな方式の測定器のについて比較実験絶縁監視装置 (1)Io方式の漏電ブレーカーとIgr漏電ブレーカーの動作の相違の実験 (2)いろいろな測定器の実験 (3)いろいろな方式の絶縁監視装置の実験漏電探査解決事例

受講お問合せ

詳細は2019年11月に日本電気技術者協会北陸支部より電気主任技術者会議にて案内予定。一般参加の方は事前ご連絡を下記、担当者へご連絡下さい。

北陸電力(株) 本店ビル

〒930-0858 富山県富山市牛島町15-1

2F 大ホール ☎076-405-1294(当日連絡先)

北陸電力(株) 福井支店

〒910-0859 福井県福井市日之出1-4-1

5F 大ホール ☎0776-29-6596(当日連絡先)



〈通電状況における漏洩電流の測定・診断技術講習会〉 参加申込書

佐鳥電機株式会社 電力ソリューション部 西田宛

(✉leakele123@satori.co.jp)

(FAX : 03-3452-7230)

参加お申し込みはe-mail又はFAXにてお申し込みください。

お申込み締切:2019年11月22日(金)

会 場	富山会場 ・ 福井会場
	★何れかを○で囲んで下さい。
ふりがな 氏名	
勤務先	
TEL	TEL
FAX	FAX
e-mail	
勤務先住所	〒

○申込書にご記入の個人情報は本講習会以外の目的で使用することは有りません。